

専門研修プログラム選択に関するアンケート調査結果について

令和6年6月25日

広島県地域医療支援センター

1 調査概要

(1) 目的

新たな専門医制度が導入され、県内の若手医師の確保を進める上で、専攻医の確保は極めて重要である。専攻医の県内定着及び県内の専門研修プログラムの魅力づくりに資するため、アンケート調査を実施した。

(2) 実施主体

広島県地域医療支援センター（(公財) 広島県地域保健医療推進機構）

(3) 調査対象病院

広島県内の臨床研修病院（24 病院）

(4) 調査対象者

初期臨床研修2年目の医師 24 病院 188 人

（令和6年3月で初期臨床研修を修了予定の医師）

(5) 回答者数

148 人/188 人(回答率 78.7%)

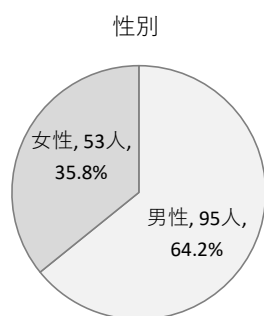
(6) 調査期間

令和6年2月5日～3月31日

2 基本情報

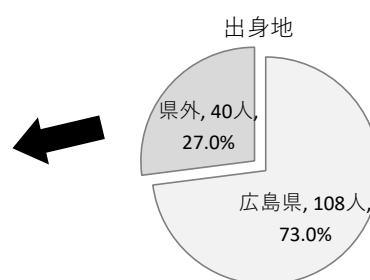
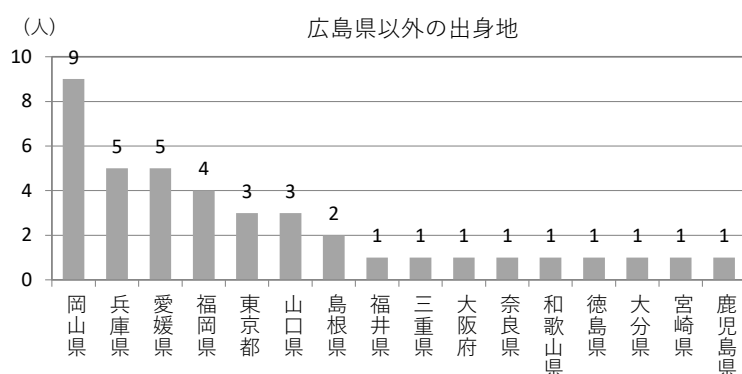
(1) 性別

回答者 148 人の性別は、男性 95 人 (64.2%)、女性 53 人 (35.8%) であった。



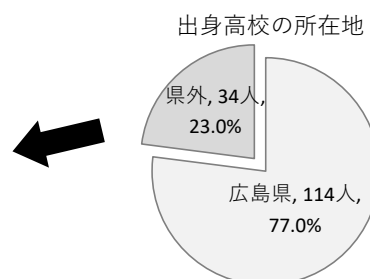
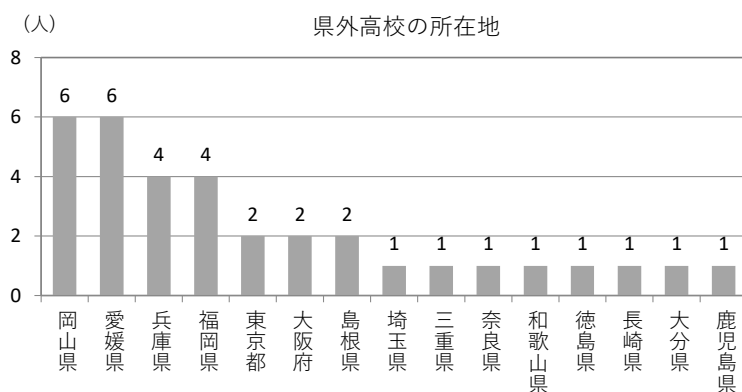
(2) 出身地

回答者 148 人のうち、広島県内出身者は 108 人 (73.0%)、県外出身者は 40 人 (27.0%) であった。県外は上位から、岡山県が 9 人、兵庫県と愛媛県が 5 人、福岡県が 4 人などであった。



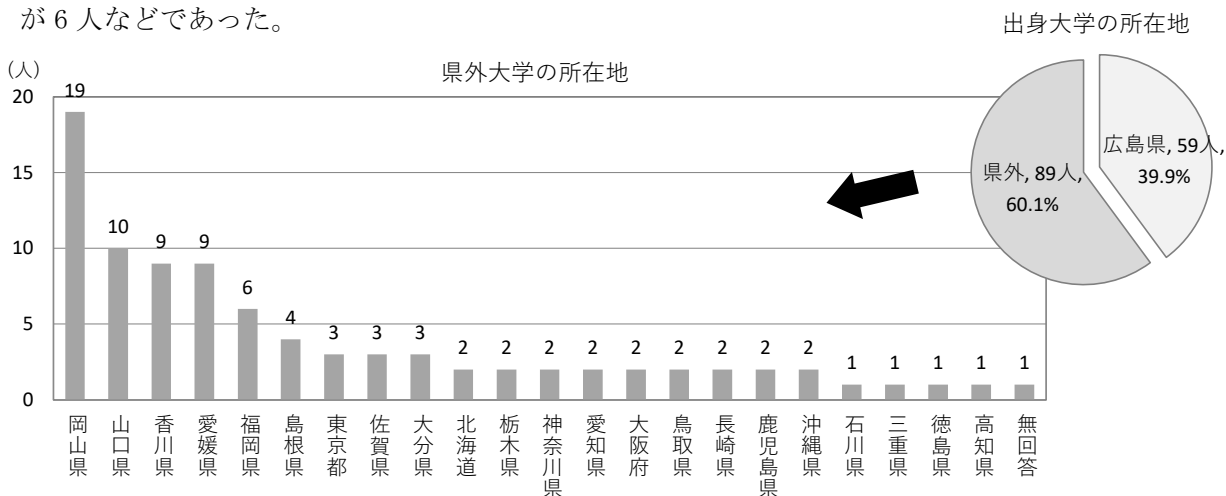
(3) 出身高校の所在地

回答者 148 人のうち、広島県内の高校出身は 114 人 (77.0%)、県外の高校出身は 34 人 (23.0%) であった。県外は上位から、岡山県と愛媛県が 6 人、兵庫県と福岡県が 4 人、東京都、大阪府、島根県が 2 人などであった。



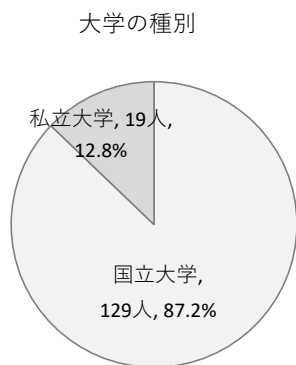
(4) 出身大学の所在地

回答者 148 人のうち、広島大学出身は 59 人(39.9%)、県外の大学出身は 89 人(60.1%)であった。県外の大学は上位から、岡山県が 19 人、山口県が 10 人、香川県と愛媛県が 9 人、福岡県が 6 人などであった。



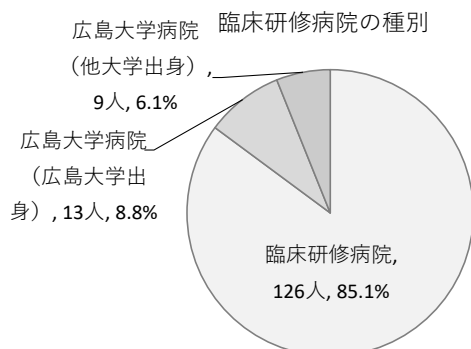
(5) 大学の種別

回答者 148 人のうち、国立大学出身が 129 人(87.2%)、私立大学出身が 19 人(12.8%)であった。



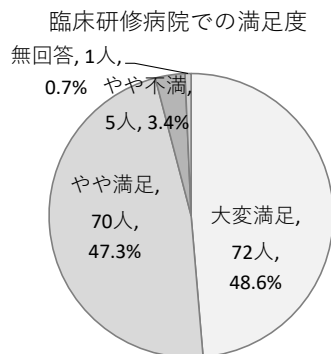
(6) 所属している臨床研修病院等の種別

回答者 148 人のうち、臨床研修病院 (大学病院を除く) 所属 126 人(85.1%)、広島大学病院 (広島大学出身) 所属 13 人(8.8%)、広島大学病院 (他大学出身) 所属 9 人(6.1%)であった。



(7) 所属している初期臨床研修(プログラム)の満足度

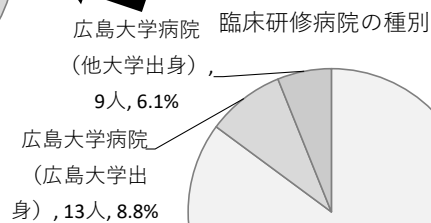
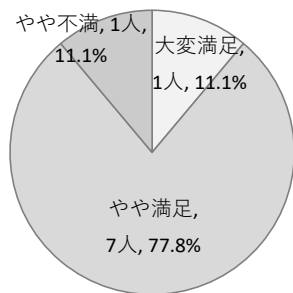
回答者 148 人のうち、初期臨床研修(プログラム)に対して、大変満足が 72 人(48.6%)、やや満足が 70 人(47.3%)、やや不満が 5 人(3.4%)であった。



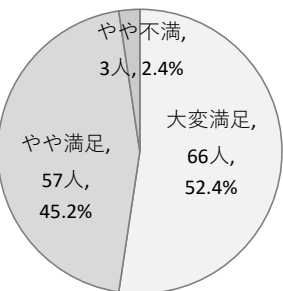
(8) 所属している臨床研修病院の満足度

研修医の所属している臨床研修病院の満足度は、次のとおりであった。

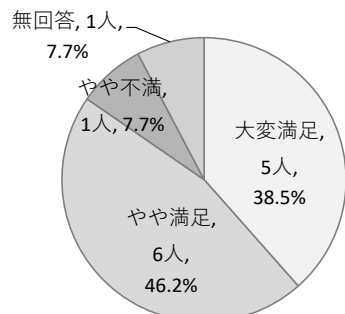
広島大学病院（他大学出身）での満足度



臨床研修病院での満足度

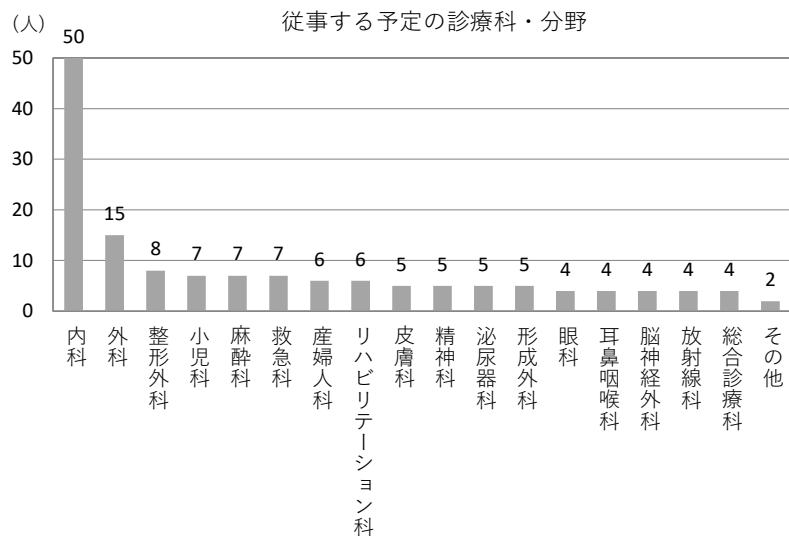


広島大学病院（広島大学出身）での満足度



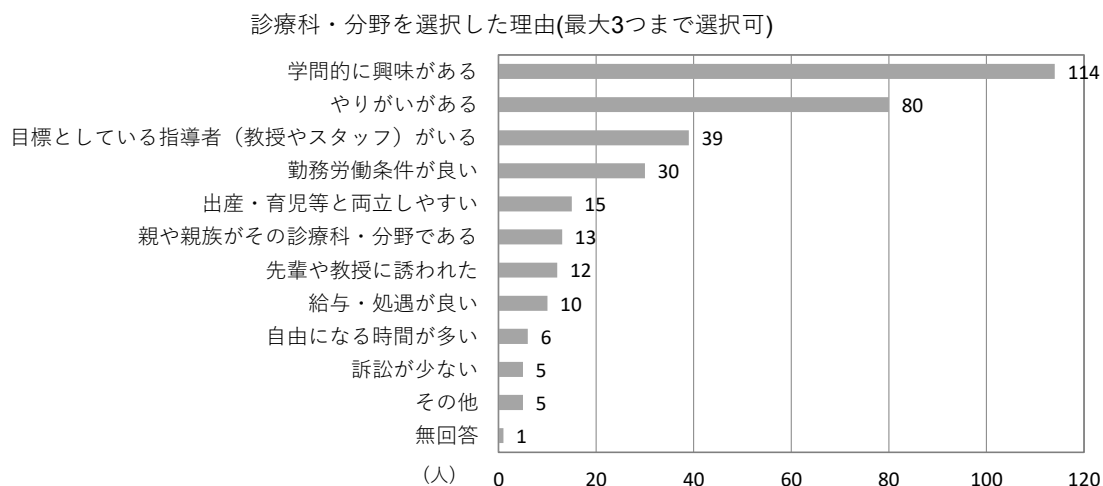
3 令和6年度から従事する予定の診療科・分野

回答者の令和6年度から従事予定の診療科・分野は、内科が50人と一番多く、次いで外科が15人、整形外科が8人、小児科、麻酔科、救急科が7人、産婦人科とリハビリテーション科が6人などの順であった。



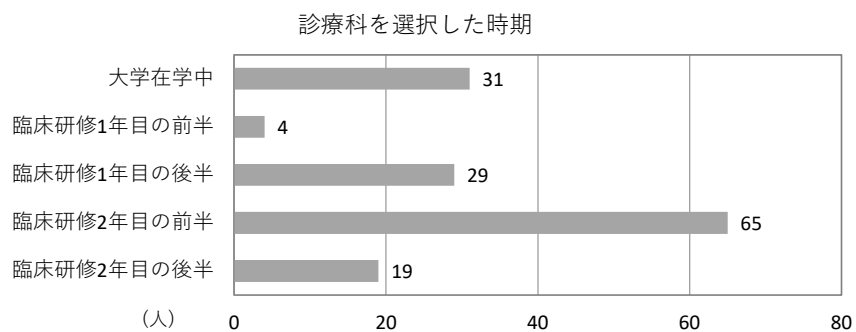
(1) 選択した理由

診療科・分野を選択した理由は、「学問的に興味がある」が114人と一番多く、次いで「やりがいがある」が80人と多かった。また、「目標としている指導者がいる」が39人いた。さらに、「勤務労働条件が良い」が30人、「出産・育児等と両立しやすい」が15人と勤務労働環境を理由とした方もいた。一方、「給与・処遇が良い」を理由としたのは10人であった。



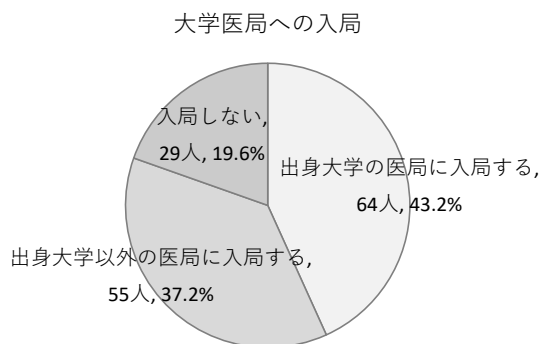
(2) 選択した時期

診療科を選択した時期は、「臨床研修2年目の前半(4月～9月)」が65人と一番多かった。一方、「大学在学中」は31人であった。



(3) 大学医局への入局について

4月からの勤務にあたり、医局に入局する医師が119人いる一方、29人が入局しないとしている。

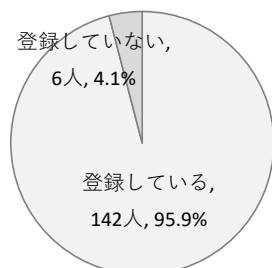


4 専門研修プログラムの登録について

(1) 専門研修プログラムに登録しているか

令和6年4月開始の専門研修プログラムに登録している医師が142人で、登録していない医師が6人いた。

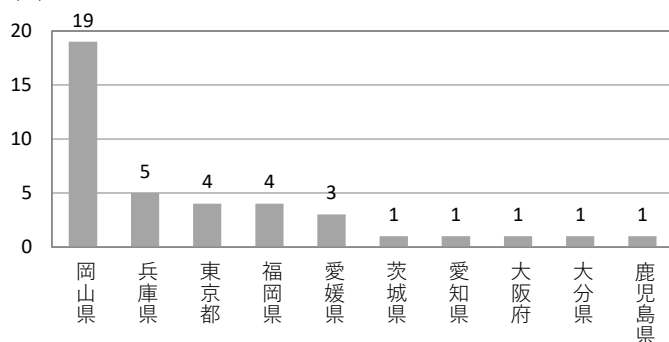
専門研修プログラムへの登録



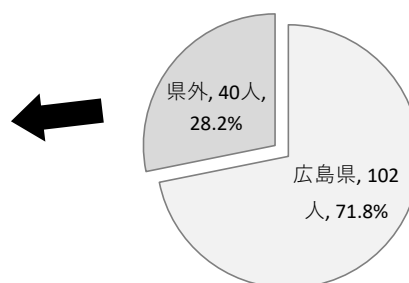
(2) 基幹施設の所在地

令和6年4月開始の専門研修プログラムに登録していると回答した142人中、広島県内の基幹施設のプログラムに102人(71.8%)が登録している一方、県外の基幹施設のプログラムに40人(28.2%)が登録しており、その内訳は、岡山県が19人、兵庫県が5人、東京都と福岡県が4人などとなっている。

(人) 専門研修プログラム県外の基幹施設の所在地



専門研修プログラムの基幹施設の所在地



(3) 専門研修プログラム基幹施設名等

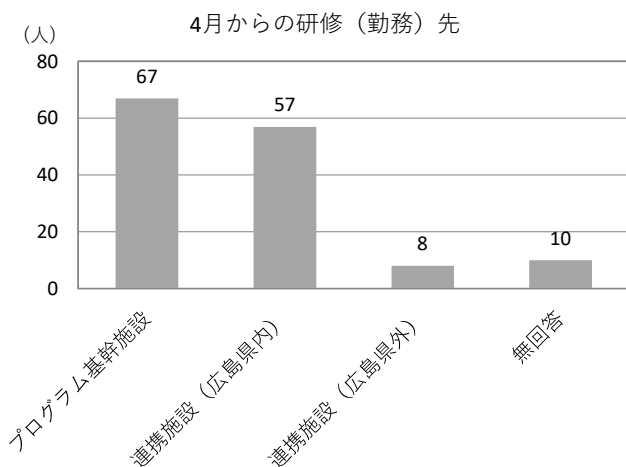
専門研修プログラムの基幹施設は広島大学病院が76人と一番多く、次に広島市民病院が8人、広島赤十字・原爆病院が3人などとなっている。



※プログラム基幹施設を記入していない場合でも、その他の項目から推定できる場合は数に含めた。

(4) 4月からの研修（勤務）先

専門研修プログラムに登録している142人の令和6年4月からの研修（勤務）先は、プログラム基幹施設からの研修スタート者が67人、広島県内の連携施設からの研修スタート者が57人、県外の連携施設からの研修スタート者が8人、無回答が10人であった。

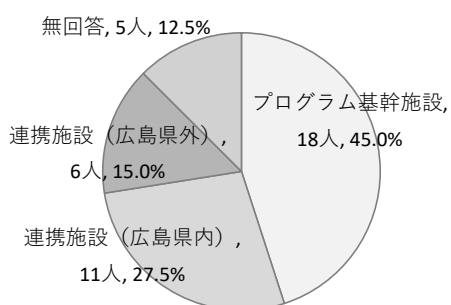


5 専門研修の内容の考慮・重視

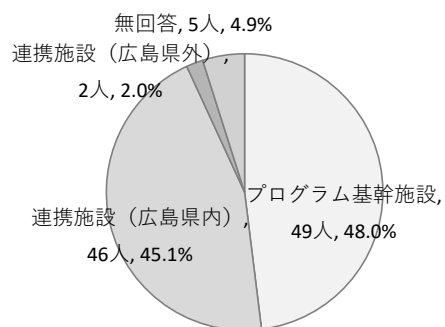
(1) 広島県内外のプログラム基幹施設の専門研修プログラム登録者の4月からの研修(勤務)先
 広島県内の基幹施設の専門研修プログラムに登録した専攻医 102 人についてみると、4 月からの研修開始先は、「プログラム基幹施設」49 人(48.0%)、「広島県内の連携施設」46 人(45.1%)、「県外の連携施設」2 人(2.0%)、無回答 5 人(4.9%)であった。

一方、県外の基幹施設の専門研修プログラムに登録した専攻医 40 人の研修開始先は、「プログラム基幹施設」18 人(45.0%)、「広島県内の連携施設」11 人(27.5%)、「県外の連携施設」6 人(15.0%)、無回答が 5 人(12.5%)であった。

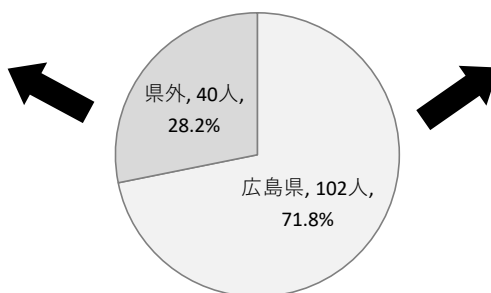
県外プログラム登録者の4月からの研修(勤務)先



県内プログラム登録者の4月からの研修(勤務)先



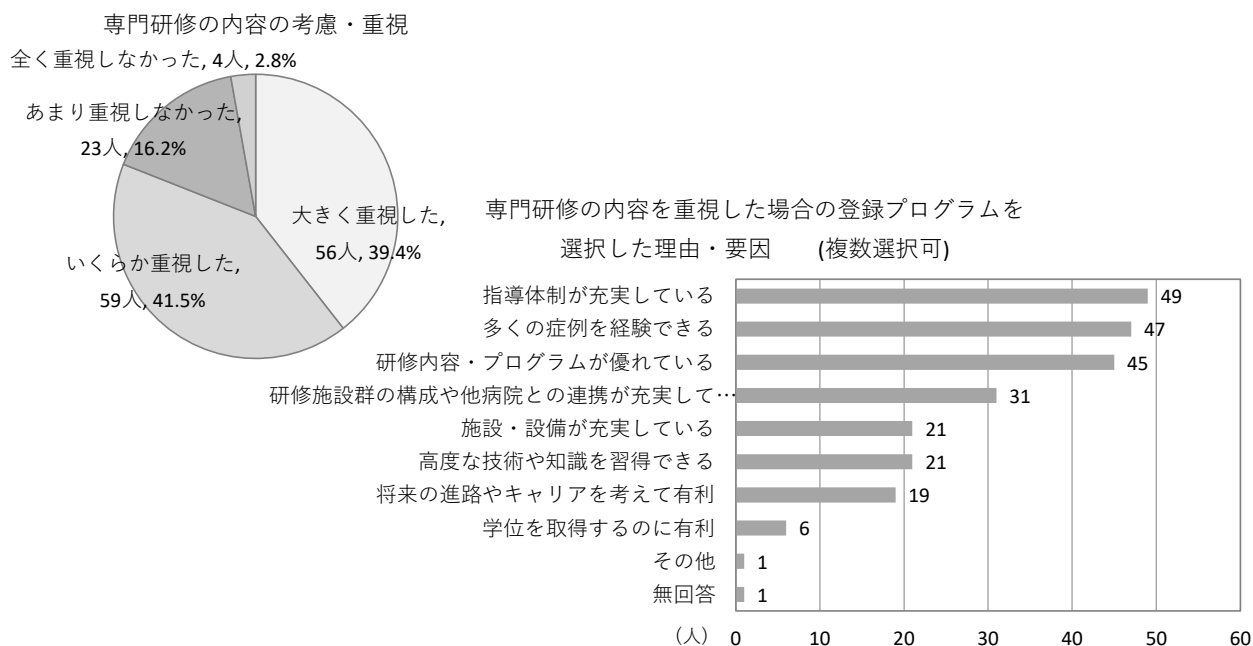
基幹施設の所在地



(2) 登録した専門研修プログラムを選択するにあたり考慮・重視した事項

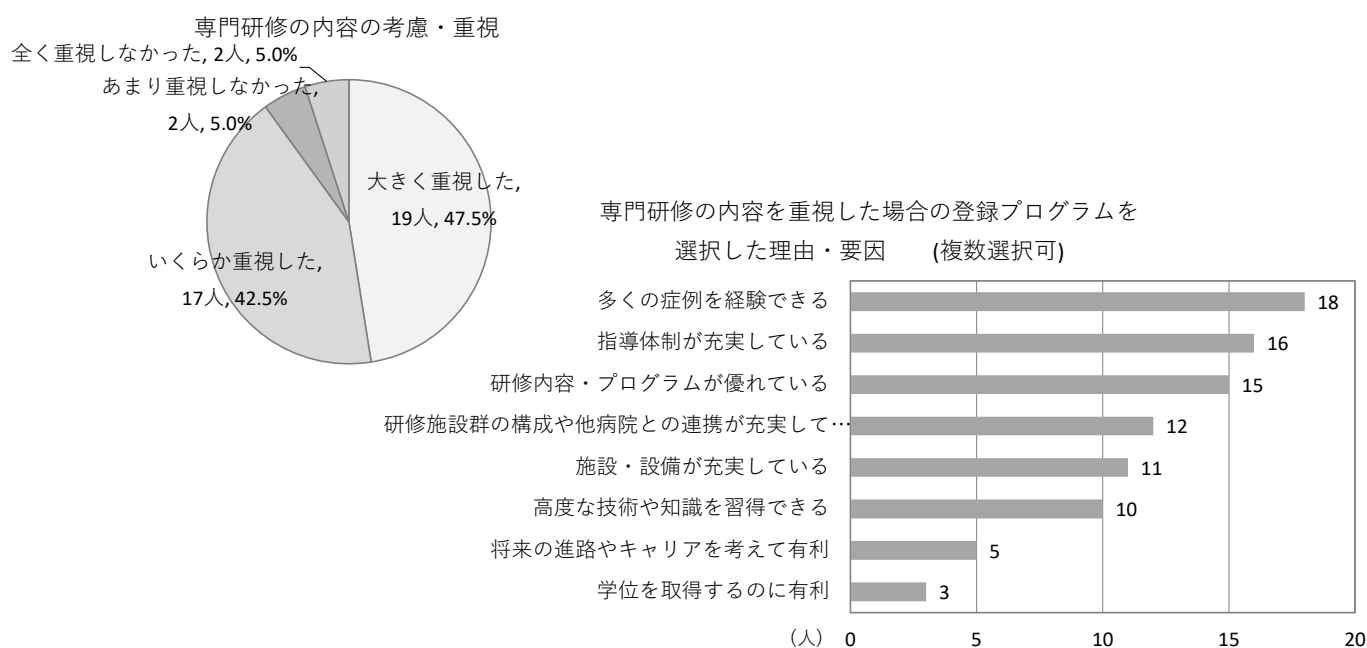
a 専門研修の内容の考慮・重視

県内・県外プログラム登録者 142 人が登録した専門研修プログラムを選択するにあたり「専門研修の内容」を考慮・重視したのは 115 人で、その選択理由については、「指導体制が充実」が 49 人、「多くの症例を経験できる」が 47 人、「研修内容・プログラムが優れている」が 45 人、「研修施設群の構成や他病院との連携が充実している」が 31 人などとなっている。



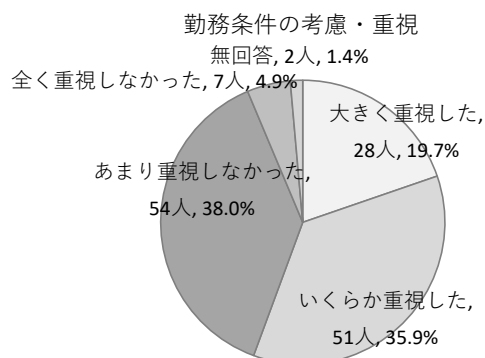
<うち県外プログラム登録者>

県外プログラム登録者 40 人が登録した専門研修プログラムを選択するにあたり「専門研修の内容」を考慮・重視したのは 36 人で、その選択理由については、「多くの症例を経験できる」が 18 人、「指導体制が充実している」が 16 人、「研修内容・プログラムが優れている」が 15 人、「研修施設群の構成や他病院との連携が充実している」が 12 人などとなっている。

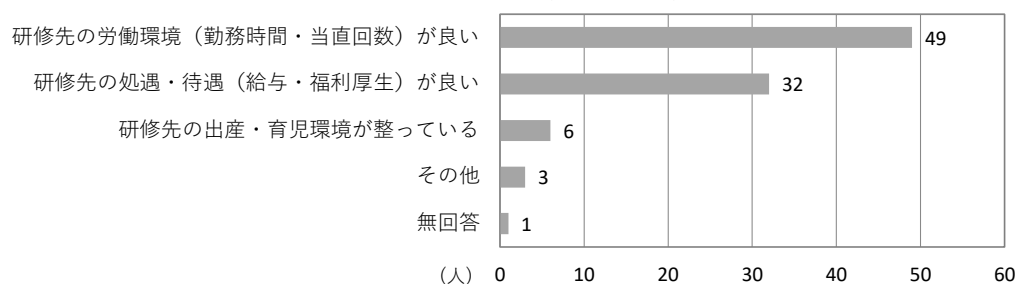


b 勤務条件の考慮・重視

県内・県外プログラム登録者 142 人が登録した専門研修プログラムを選択するにあたり「勤務条件」を考慮・重視したのは 79 人で、その選択理由については、「研修先の労働環境(勤務時間・当直回数)が良い」が 49 人、「研修先の処遇・待遇(給与・福利厚生)が良い」が 32 人、「研修先の出産・育児環境が整っている」が 6 人などとなっている。

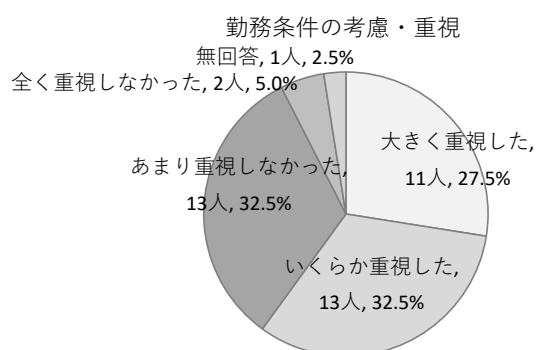


勤務条件を重視した場合の登録プログラムを選択した理由・要因 (複数選択可)

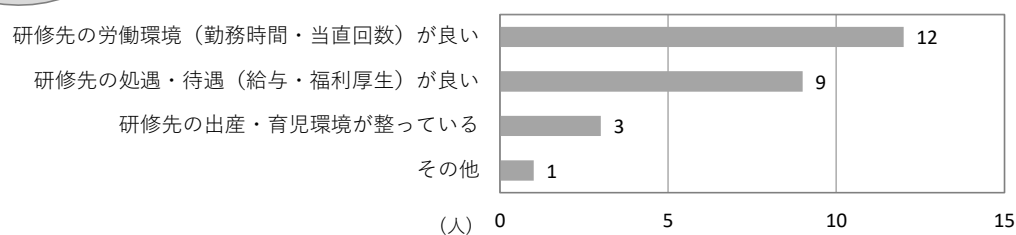


＜うち県外プログラム登録者＞

県外プログラム登録者 40 人が登録した専門研修プログラムを選択するにあたり「勤務条件」を考慮・重視したのは 24 人で、その選択理由については、「研修先の労働環境(勤務時間・当直回数)が良い」が 12 人、「研修先の処遇・待遇(給与・福利厚生)が良い」が 9 人、「研修先の出産・育児環境が整っている」が 3 人などとなっている。

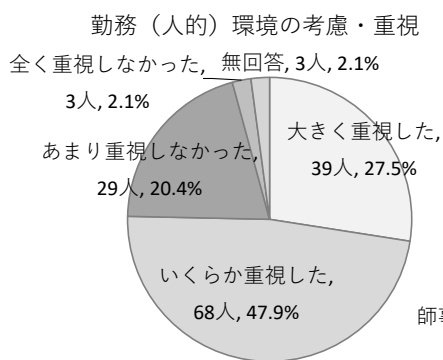


勤務条件を重視した場合の登録プログラムを選択した理由・要因 (複数選択可)

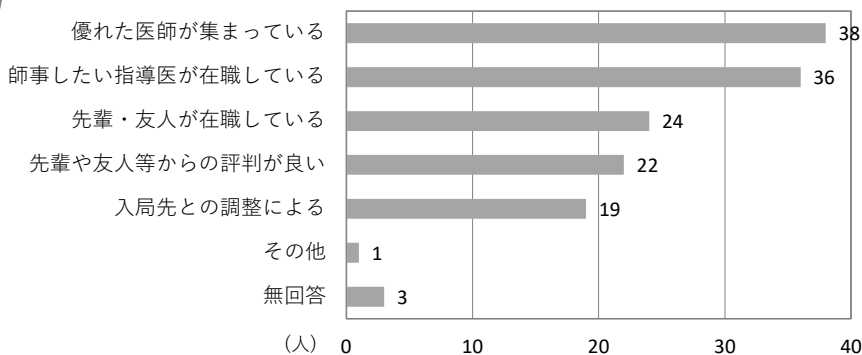


c 勤務（人的）環境の考慮・重視

県内・県外プログラム登録者 142 人が登録した専門研修プログラムを選択するにあたり「勤務（人的）環境」を考慮・重視したのは 107 人で、その選択理由については、「優れた医師が集まっている」が 38 人、「師事したい指導医が在職している」が 36 人、「先輩・友人が在職している」が 24 人、「先輩・友人等からの評判が良い」が 22 人、「入局先との調整による」が 19 人などとなっている。

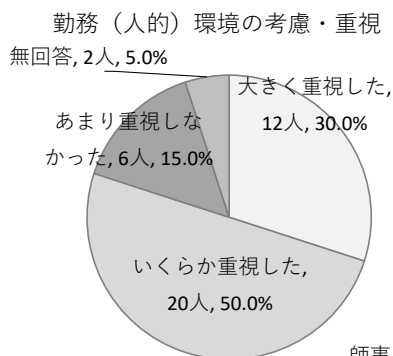


勤務（人的）環境を重視した場合の登録プログラムを選択した理由・要因（複数選択可）

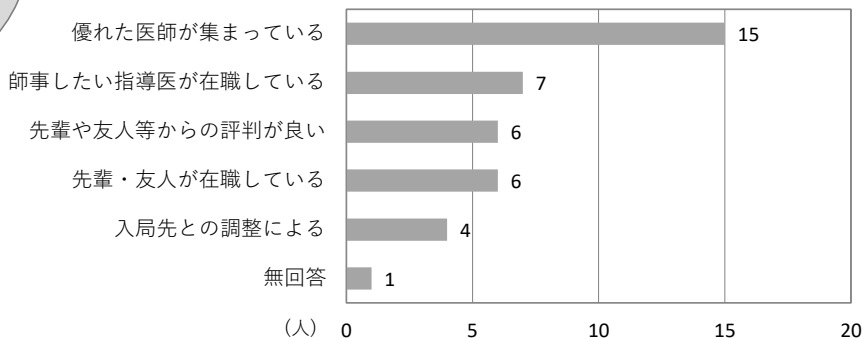


<うち県外プログラム登録者>

県外プログラム登録者 40 人が登録した専門研修プログラムを選択するにあたり「勤務（人的）環境」を考慮・重視したのは 32 人で、その選択理由については、「優れた医師が集まっている」が 15 人、「師事したい指導医が在職している」が 7 人、「先輩・友人等からの評判が良い」と「先輩・友人が在職している」が 6 人、「入局先との調整による」が 4 人などとなっている。

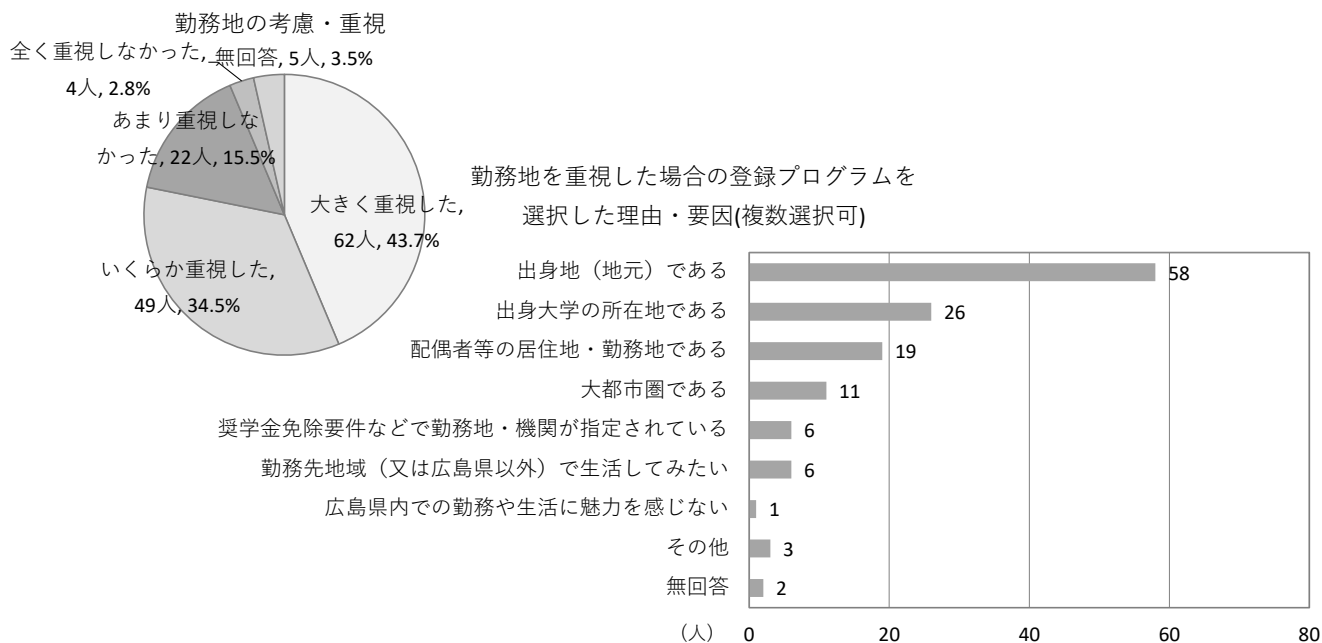


勤務（人的）環境を重視した場合の登録プログラムを選択した理由・要因(複数選択可)



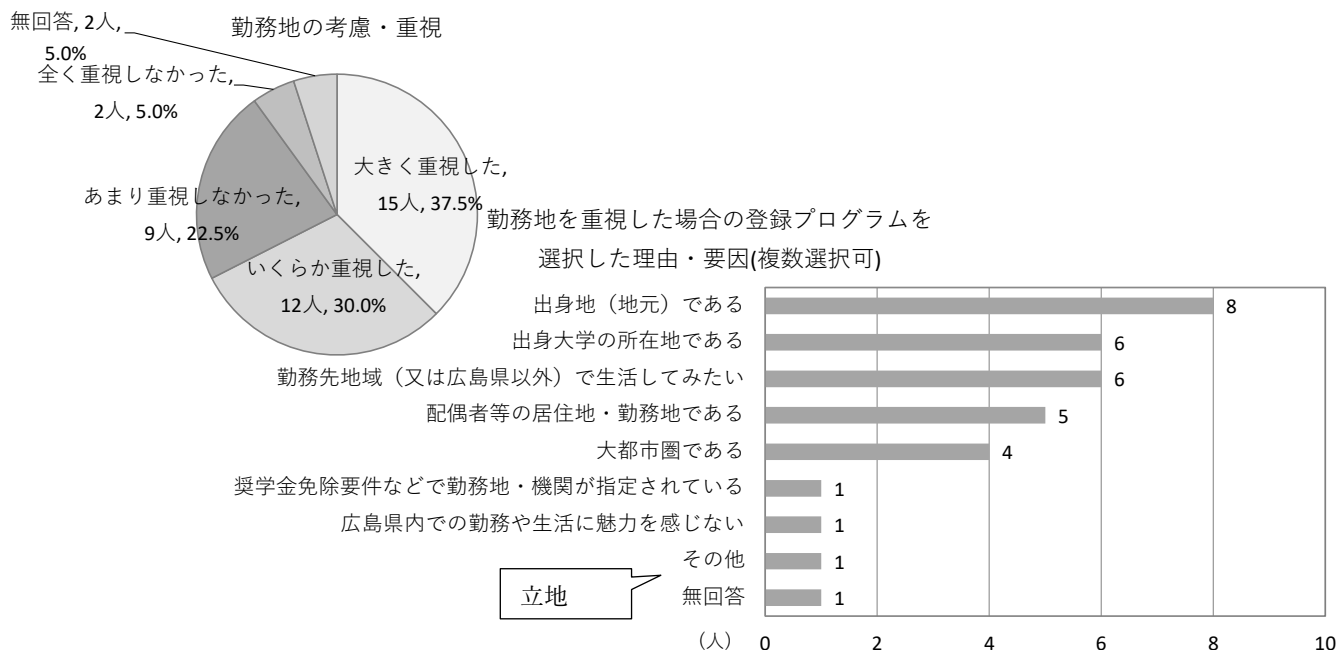
d 勤務地の考慮・重視

県内・県外プログラム登録者 142 人が登録した専門研修プログラムを選択するにあたり「勤務地」を考慮・重視したのは 111 人で、その選択理由については、「出身地(地元)である」が 58 人、「出身大学の所在地である」が 26 人、「配偶者等の居住地・勤務地である」が 19 人、「大都市圏である」が 11 人、「奨学金免除要件」と「勤務地域先(又は広島県以外)で生活してみたい」が 6 人などとなっている。



<うち県外プログラム登録者>

県外プログラム登録者 40 人が登録した専門研修プログラムを選択するにあたり「勤務地」を考慮・重視したのは 27 人で、その選択理由については、「出身地(地元)である」が 8 人、「出身大学の所在地である」と「勤務地域(又は広島県以外)で生活してみたい」が 6 人、「配偶者等の居住地・勤務地である」が 5 人、「大都市圏である」が 4 人などとなっている。



6 専門研修プログラム選択に関するアンケート調査票まとめ

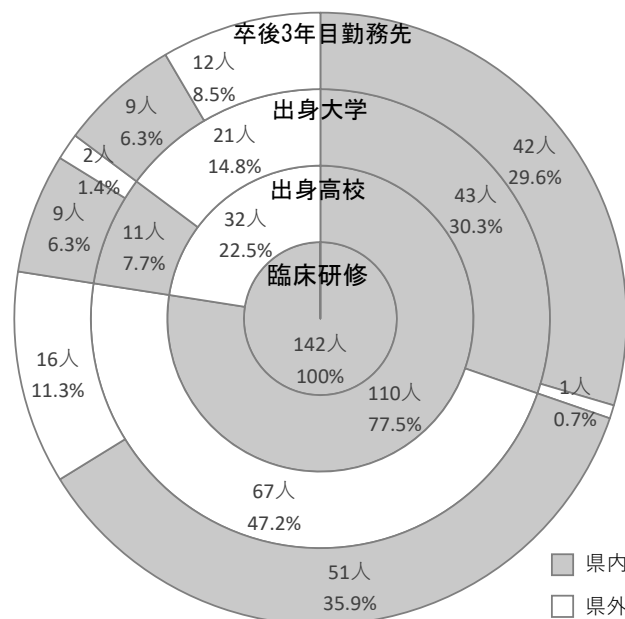
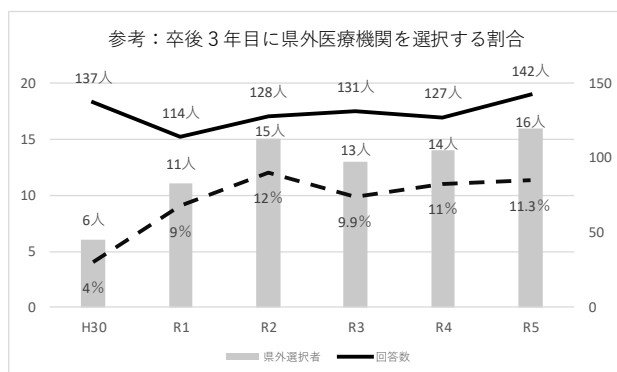
専攻医として登録している医師 142 人のうち、広島県内の医療機関に勤務する医師が 111 人、
 県外の医療機関に勤務する医師が 31 人となっている。

出身地(出身高校の所在地)	出身大学の所在地	臨床研修病院の種別(全て広島県内)	卒後3年目勤務先(専攻医としての勤務先)	人数	備考(卒後3年目の県外勤務先)
広島県内 (110人)	広島県内 (43人)	広島県内 (142人)	広島県内	42人	
			広島県外	1人	・茨城県1人
	広島県外 (67人)		広島県内	51人	
			広島県外	16人	・東京都3人・愛知県1人・大阪府1人 ・兵庫県2人・岡山県5人・愛媛県1人 ・福岡県1人・大分県1人 ・県外連携施設1人
広島県外 (32人)	広島県内 (11人)		広島県内	9人	
			広島県外	2人	・兵庫県1人 ・鹿児島県1人
	広島県外 (21人)		広島県内	9人	
			広島県外	12人	・愛媛県2人・岡山県4人・福岡県2人 ・兵庫県2人・東京都1人 ・県外連携施設1人
計 142 人中 広島県内就業 111 人、広島県外就業 31 人					専門研修登録者 142 人 うち基幹施設名未回答 5 人

※卒後3年目の勤務先不明者のうち、専門研修プログラムを選択した人は基幹施設所在地の勤務に含めた。

専攻医として登録している医師 142 人については、出身高校が広島県内であり、臨床研修を県内で受けている場合、出身大学が広島県内外に関わらず、卒後3年目の勤務先は県内の医療機関が大半を占めている。

一方、出身高校が広島県内で、かつ出身大学が広島県外の場合、卒後3年目に、県外の医療機関を選択する者の割合が緩やかな増加傾向にある。

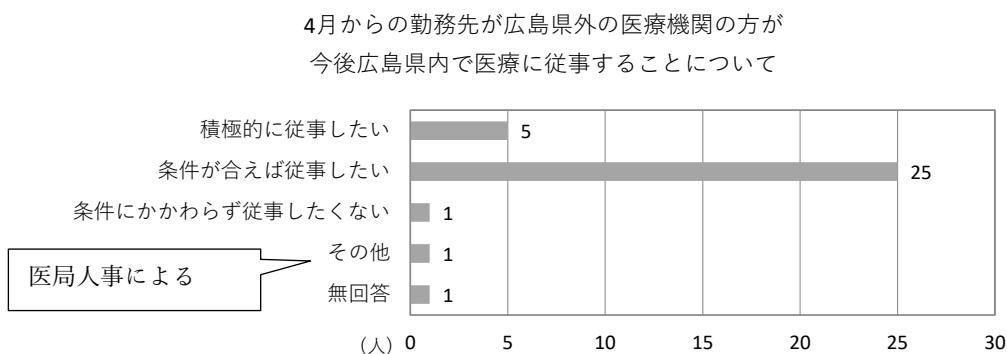


7 プログラム非登録者について

専門研修プログラムの非登録者は6人で、4月からの勤務先は県内が4人などである。

8 今後、広島県内で医療に従事することについて

4月以降の勤務先が広島県外の医療機関である33人に、今後広島県内で医療に従事することについて質問したところ、「条件が合えば従事したい」が25人、「積極的に従事したい」が5人いる一方、「条件にかかわらず従事したくない」は1人などであり、県外の医療機関に勤務する医師のほとんどが、将来、広島県内で医療従事することを希望している。



※卒後3年目の勤務先不明者のうち、広島県の専門研修プログラムを選択した人は県内勤務とした。